

「福井大学 STELLA プログラム」での Google Classroom の活用

Utilization of Google Classroom in the 'U-Fukui STELLA Program'

福井大教育¹ ◦葛生 伸¹, 栗原 一嘉¹

Univ. of Fukui¹ ◦Nobu Kuzuu¹, Kazuyoshi Kurihara¹

E-mail: stella@ml.u-fukui.ac.jp

【はじめに】福井大学教育学部では、科学技術振興機構（JST）の次世代科学技術チャレンジプログラム「ふくい先端領域で学ぶ人財協育プログラム — ふるさとの地域理解から探究力を育む —」（福井大学 STELLA プログラム）を2024年6月から開始した。受講者のレポート提出、講座の資料公開などに Google Classroom を使用している。

【概要】受講は第一段階「ふくいチャレンジマスターコース」（定員40名）と第二段階「ふくいチャレンジドクターコース」（定員13名）に分かれている。1年間で第一段階を終了し、成果報告会の状況に応じて13名が第二段階に進む。第一段階では、講座の受講と自由研究を行う。第一段階の修了要件は、指定された時数の講座受講と、自由研究の報告である。初年度は募集期間が短かったため、受講生は20名にとどまった。

【講座動画の公開と課題の提出】講座は土日または長期休暇時に開講している。31講座を5分野にわけて開講している。第一段階を修了するには、分野毎に指定時間以上の講座受講とレポート提出が必要である。さらに、自由研究のレポート提出と口頭発表が必要である。自由研究は第一回の中間報告会（12月1日）で概要報告後、成果発表会（3月9日）までに2回の中間報告会と個別指導を通じて完成させる。

【Google Classroom の活用】講座資料の提示、レポート提出、自由研究の指導に Google Classroom を使用している。有料の Google Classroom を設定し、受講生や指導者は自分の Google アカウントで参加している。講師の許可を得た場合は講義を撮影した動画や資料提示している。受講後手書のレポートを pdf にして Classroom に提出する。提出レポートはコメントを書いて返却する。

【自由研究の提出と指導】自由研究レポートは11月末に提出専用の提出サイトから提出する。その指導のため、12月1日に第1回目の中間発表会をリモートで開催した。その後必要に応じてレポートへのコメント、チャット、リモート会議での指導をしている。欠席者に対しては個別対応も実施している。3回の中間発表会のうちの1回は対面で実施する。

【個人研究室】受講管理と自由研究指導のために、個人と指導者のみアクセスできる「個人研究室」を作成した。「研究室」では受講生と指導者がチャットできる他、受講者、指導者ともにファイルを提示できる。さらに、受講状態を管理できるスプレッドシート「ふりかえりノート」を配置している。分野毎の受講単位数が規定に達するか調べるために、受講済みの講座を自分で記述するようにした。お互いに受講状況を把握しやすくするため、第1回中間発表会以降は、受講状態をこちらが記入するシートを付け加えた。それをもとに、個人受講指導をしている。なお、未受講の者でも講義中心の者は動画を視聴してレポート提出すれば単位を認定している。